

# 過去と現在の地域資源の融合による非日常が味わえる空間で都市圏・インバウンド需要を取込む

1948年、炭鉱で栄える福岡県筑豊地域に三井鉱山の運送請負を主な業務として創業。運送、土木建築用資材の製造販売を主力とする。旧産炭地域が疲弊していくなか、経営の多角化を図り、サービス分野にも進出。2008年に三井鉱山セメントの田川工場跡地に美術館やレストラン、庭園などを有する「池のおく園」を開業。人口4.6万人の小さな街に域内外から年間2.5万人が訪れる、非日常が味わえる特別な空間へと生まれ変わらせて、地域全体の浮揚に取り組んでいる。

所在地 福岡県田川市大字弓削田80  
電話／FAX 0947-44-1818／0947-44-5707  
URL <http://hk52.com/grp-sangyo.html>  
代表者 代表取締役社長 中村 義道

設立 1948年  
資本金 2,405万円  
従業員数 87人



## 都市圏からの利便性を活かしたインバウンドの取り込み

「池のおく園」では、福岡都市圏および北九州都市圏から約1時間程度の利便性を活かし、アジア圏からのインバウンドを積極的に取り込み、個人から団体客まで幅広く受け入れた。このため自所だけをPRするのではなく、旅行会社とタイアップし、近隣の炭鉱関連施設などを周遊するバスツアーも企画。地域の魅力を発信してきた。今年は世界中で感染が拡大している新型コロナウイルスにより、インバウンドはもとより国内需要の取り込みもできていないが、収束後を見据え魅力に磨きをかけている。



訪問客で賑わう「池のおく園」

## 過去と現在の地域資源の融合

地域を元気にしたいとの思いから、本地域の地域資源である石炭産業やセメント産業の歴史を物語る場所を非日常が味わえる特別な空間へと生まれ変わらせ、福岡都市圏および北九州都市圏から約1時間程度の利便性を活かし、域内外から人を呼び込むことに成功。また、園内で提供される食事は、自社農場で収穫された農産物をふんだんに使い、他店には真似できない食事を提供し、好評を得ている。自社農場では環境と身体に優しい有機栽培により、年間50~60品種の農産物を栽培している。



こだわりの有機栽培

## 高品質な食事とサービスで特別な時間を提供

単に食事を提供する場所だけではなく、地方では数少ない格式ある和食や洋食レストランで、高品質な食事とサービスを提供、他店との差別化を図り、特別な時間を過ごしたい主婦層を中心に高い評価を得ている。中村美術館や日本庭園もその一つで、日常とは異なる特別な空間を演出。中村美術館に展示されている美術品も、和食や洋食レストランで提供されるメニューも、定期的に更新され、何度訪れても新鮮さが味わえるよう、工夫を凝らしたサービスを展開し、リピーターの獲得に成功している。



旬の食材を活かしたコースメニュー